

2022 年度日本海洋学会第 2 回幹事会議事録

日時: 2022 年 7 月 13 日 (水) 13:30~17:00

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、岡、帰山、川合、土井、中野、野口、吉田、事務局(毎日学術フォーラム: 平坂)

議題

1. 議事録確認(中野幹事)

2022 年度第 1 回幹事会の議事録が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(梅澤幹事)

2022 年 4 月から 5 月の入会者(14 名)と退会者(6 名)が承認された。2022 年 5 月末時点の会員数は、1388 名。

(2) 後援・共催等の依頼(梅澤幹事)

後援・共催等について 2 件の依頼があり、承認された。

(3) 公募・推薦の依頼 (梅澤幹事)

公募・推薦の依頼について 10 件の依頼があり、承認された。

(4) 秋季大会における授賞式・受賞記念講演について(中野幹事)

Zoom のウェビナーオプション(11,770 円/500 人まで参加可) を幹事会の予備費で購入することが提案され、承認された。

(5) Web 選挙について(中野幹事)

Web 選挙について JOSNL への一枚紙を加えること及び、web 作成費の振り込みの前倒しの依頼があり、承認された。

(6) 法人化関係 (神田会長)

定款の素案の提示および議論され、定款案の作成を依頼し、案についてはメールで審議することが承認された。

(7) 若手海外渡航援助について(伊藤副会長)

若手海外渡航援助についての募集案が提案され、承認された。

3. 報告事項

(1) 授賞式・記念講演について(中野幹事)

相木事務局長と連絡をとりながら準備を進めていることについて報告があった。

保育ルームの取り扱いについては、議論の結果 JpGU に倣って補助のみとすることについて報告があった。

(2) 評議員開催について (中野幹事)

短期間かつ食事抜きの現地開催プラスオンラインのハイブリッド開催とする予定との報告があった。

(3) 研究発表(土井幹事)

JpGU2022 の終了報告と、2022 年度秋季大会の予定の報告があった。また次回の秋季大会は京都であること、さらにその次の開催地について検討するとの報告があった。

(4) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO Vol 76(1)-78(4) の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特別セッションについての掲載、受付状況についても報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

第 31 巻 3 号が 2022/5/15 に出版されたこと、第 31 巻 4 号の出版は未定とのことが報告された。

③ ニュースレター(岩本編集委員長)

12-2 の原稿が印刷会社に入稿したとの連絡があった。

(5) 広報(帰山幹事)

JpGU2022 において、現地ブースとオンラインの双方で展示したとの報告があった。

(6) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

青い海助成の募集をメーリングリストに流したとの報告があった。

(7) 海洋環境問題研究会(梅澤幹事)

秋のシンポジウムについての報告があった。

(8) 教育問題研究会(川合幹事)

海のサイエンスカフェが 9 月 11 日に森岡会員の話題提供で行われる予定との報告があった。また、海洋教育学会が設立され、9 月 10,11 日に設立大会がハイブリッド開催されるとの報告があった。また、日本科学振興協会が設立されたとの報告があった。

(9) 海洋生物研究会(伊藤副会長)

新会長に長崎大の近藤会員が推薦され、運営委員会委員の約半数が交代となる予定との報告があった。

(10)男女共同参画(野口幹事)

輝く女性研究者賞に 1 名を学会推薦したとの報告があった。

「Inclusion 海かふえ」を 2022 年 6 月 17 日に開催したとの報告があった。

女子中高生夏の学校 2022 年を 8 月 7 日に開催予定との報告があった。

男女共同参画学協会連絡会第 20 期第 3 回運営委員会が 2022 年 8 月 22 日にオンラインで開催予定との報告があった。

(11)水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

役員の改選があり、議長は留任すること等の報告があった。毎年開催している学術会議水産分科会のシンポジウムの題材としてカーボンニュートラルと水産について開催する予定との報告があった。

(12)防災学術連携体(中野幹事)

2022年7月11日に zoom による環境災害対応委員会が開かれ、会長の変更等があったとの連絡があった。

(13) 若手支援(伊藤副会長)

海洋若手会が山形で行われる予定との報告があった。

(14) リクルート戦略 WG (梅澤幹事)

大学進路相談において4件ほど問い合わせがあったとの報告があった。

(15) 海洋環境の事典編集委員会 (伊藤副会長)

対象を高校生以上ということで議論が収束しつつあること、また、イラスト等を多用してわかりやすいものにする方向に進んでいるとの報告があった。さらに、本の価格を下げるために著者の方々の同意が得られれば印税を放棄する方向にしたいこと、著作権については日本海洋学会としたいことが提案され、意見交換を行った。